

## ロシアのウクライナへの軍事侵攻に対する声明文 ——私たちの信仰の表明——

実に、キリストこそ私たちの平和です。キリストは私たち二つのものを一つにし、ご自分の肉において、隔ての壁である敵意を打ち壊し、様々な規定から成る戒めの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、この二つをご自分において新しい一人の人に造り上げて平和を実現し、二つのものを一つのからだとして、十字架によって神と和解させ、敵意を十字架によって滅ぼされました(エペソ人 2:14-16)。

イエス・キリストは、私たちの平和です。

イエス・キリストは、受難のメシヤとして、ろばの子の背中に乗り、エルサレムに入城し、十字架へと向かわれました。軍馬ではありませんでした。それは、文字通り戦いを止めた王の姿です。

聖書によれば、十字架につけられ、甦られたイエス・キリストにこそ、天と地にあるすべての権力は属しています。

教会は、このイエス・キリストの平和の福音を証しすることによって、すべての人々との平和を構築し、保持していきます。

イエス・キリストこそ、人々の間での平和のために祈り・考え・働くようにと義務付けるのです。

平和の問題とは、とりもなおさず信仰告白の問題です。

私たち JECA は、『第二次大戦における日本の教会の罪責に関する私たちの悔い改め』において、「戦後 50 年の教会の歩みを省みつつ、私たち自身の罪を認め、深く悔い改めま」した。そして、「全世界の教会と共に、この地に住む人たちの祝福の基となるために、歴史と教会の唯一の主権者であるキリストを告白し、キリストから委託された、地の塩・世の光としての光栄ある務めに献身することを願いました」。

私たちは、この悔い改めと信仰告白に基づいて、ロシアのウクライナに対する軍事侵攻に強く反対します。

このような事態に、教会は沈黙してはならず、無条件の「否」を語るべきだと思います。それが、地の塩・世の光としての務めなのです。

イエス・キリストは言われます。「剣をもとに収めなさい。剣を取る者はみな剣で滅びます」(マタイ 26:52)。

戦争によっては、平和を実現することはできません。

また、抑止力によっても、平和を実現することはできません。抑止力は、相手に対する不信感の表れです。この不信感が戦争を引き起こすのです。

武器をもってする戦いには、勝利はありません。

私たちは、ロシアのウクライナ侵攻を即時中止して、撤退することを求めます。また、そのために、国際社会が協力しつつ、対話と交渉による平和的解決を強く望みます。

私たちは、すべての人々の尊いいのちが守られるとともに、この地上にキリストの平和が実現することを祈ります。

2022年3月1日  
JECA 全国社会委員会